

ソニックデザイン 報道資料 2007年10月24日

ソニックデザイン、ブランド認知と製品訴求力の向上を目指した 新たなブランドコミュニケーション活動を開始

株式会社ソニックデザイン（千葉県千葉市中央区南町2-6-18、社長：佐藤敬守）は、総合オーディオメーカーとしてのブランド認知と製品訴求力の向上を目指した新たなブランドコミュニケーション活動を開始いたします。

その第一段階として、このたび（1）新ブランドロゴマークの策定、（2）ブランドコミュニケーション・スローガンの策定、（3）製品名および製品型番の整理・改変を実施し、2008年1月より順次適用することとなりました。

なお、これに先駆けて2007年10月26日（一般公開：10月27日）より11月11日まで千葉市・幕張メッセで開催される「第40回東京モーターショー2007」の弊社ブースにおきまして、新ブランドロゴマークの掲示を行います。また、同日以降に制作するカタログ、雑誌広告などにつきましても、新たなブランドコミュニケーション活動方針を順次適用してまいります。

The old logo consists of the words "Sonic" and "Design" stacked vertically in a bold, sans-serif font.

ソニックデザイン 新ブランドロゴマーク

1-1. 新ブランドロゴマークについて

ソニックデザインは、2000年1月の初代SDシリーズ発売以来、独自の小口径HiFiスピーカーを中心とした純国産の高級カーオーディオ専門メーカーとしてご愛顧を頂いてまいりました。2007年1月には世界初の車載用オール・イン・ワン型デジタルプロセッサアンプ「デジコア808」を発売、さらに高音質とインストール（車両への取り付け作業）の確実性とを兼ね備えたエンクロージャー一体型スピーカーの品揃えを拡充するなど、カーオーディオの理想である小型・軽量化と高音質化、省電力化の妥協なき両立を、世界にも類のないトータルシステムとして提案しております。

今回発表する新ブランドロゴマークは、カースピーカー専門メーカーから、高級カーオーディオを軸とした国際的な総合オーディオメーカーへのさらなる飛躍を目指す、弊社の2008年以降の新たな経営計画に沿って策定したものです。

新ブランドロゴマークの策定にあたっては、特に

1. 弊社が誇る最大の資産である「**技術的な独創性**」
2. 幅広いお客様に長く愛される「**永続性**」
3. 国際ブランドへの飛躍に求められる「**可読性（読みやすさ）**」

の3点を明確に表現するため、シンプルで力強く、どなたにも信頼感と親しみを感じていただける普遍性の高いデザインを採用いたしました。

なお、この新ブランドロゴマークは、2008年1月より順次適用を開始する予定です。マーク変更に伴う関係各位へのコスト的、労力的なご負担を最小限に留め、混乱のないスムーズな移行を図っていくため、新ブランドロゴマークの適用は次に記載する移行方針に従って段階的に実施してまいります。

1-2. 新ブランドロゴマークへの移行方針

●製品についての取り扱い

現在、弊社製品（スピーカーユニット含む）の本体にブランドロゴマークの直接的な印刷、刻印は行っておらず、旧ブランドロゴマークは製品貼付ラベル、梱包箱、取扱説明書などの印刷物にのみ記載されております。そのため、これら製品付属の印刷物につきましては、2008年末をめどに新マークへの変更を段階的に行う「ランニングチェンジ」の形態を取らせていただきます。なお、今回のブランドロゴマーク変更に伴う出荷済み製品の引き取り、交換、改造などは予定しておりません。

●カタログ、広告などについての取り扱い

弊社発行の販売促進用印刷物（製品カタログなど）につきましては、新規制作、増刷時に新マークへの変更を順次行う「ランニングチェンジ」の形態を取らせていただきます。また広告につきましては、2007年末発行の雑誌掲載分より新マークへの変更を順次行う予定です。なお、今回のブランドロゴマーク変更に伴う配布済み印刷物の回収、交換などは予定しておりません。

●店舗看板、掲示物などについての取り扱い

旧ブランドロゴマークが描かれた店舗看板、掲示物などにつきましては、2008年末をめどに新マークへの取り替えを順次行う予定です。取り替え作業についての詳細は、各ご販売店様などと個別に相談させていただきます。

2. ブランドコミュニケーション・スローガンについて

今回の新たなブランドコミュニケーション活動の実施を機に、弊社の経営理念および企業活動をより深くご理解いただくためのブランドコミュニケーション・スローガンを策定いたしました。

ソニックデザイン ブランドコミュニケーション・スローガン

『技術は音楽のために、何ができるのだろう？』

このスローガンは、「**音楽を創り、聴くすべての人々に対して、オーディオ技術は常に最善を尽くし、常に謙虚でなければならない**」とする弊社の経営理念および企業活動のポリシーを表現したものです。弊社では今後、このスローガンをカタログ、広告などに随時掲げ、弊社および弊社製品に対して、より幅広いご理解とご支援をいただけるよう目指してまいります。

3. 製品名および製品型番の整理・改変について

多様な車種、多様なニーズへの完全対応を目指し、ソニックデザインのカースピーカーは単品18機種、汎用セットシステム10機種（2007年10月24日現在。車種専用セットシステムおよびサービスパーツ扱いの単品ユニットなどを除く）という多品種展開を行っています。そのため、今回の新たなブランドコミュニケーション活動の開始を機に、下記に掲げる一部製品の製品名および製品型番の整理・改変を行います。これらの整理・改変は、お客様およびご販売店様にとって、よりわかりやすく、選びやすい商品ラインアップを実現するためのものです。

● 「システム/ユニット (SD) 」シリーズについての取り扱い

上級モデルの通称「システム/ユニット (SD) 」シリーズについては、シリーズ呼称を新たに「プレミアムライン」に統一します。また、グレードを意味する「タイプN」「タイプR」「タイプF」については、それぞれ「Nクラス」「Rクラス」「Fクラス」と呼び、製品タイプについては、一部店舗で先行販売を実施している新製品「UNIT-52 Sタイプ」を「タイプ55」、「UNIT-52 Aタイプ」を「タイプ52」、「UNIT-130 AL/AR」を「タイプ130」、「UNIT-130 BL/BR」を「タイプ131」と呼ぶなど、製品グレードと製品タイプとの関係をわかりやすく整理します。

また、同シリーズの製品型番につきましては、別表のとおり変更を実施いたします。

● 「トレードインボックス (TB) 」シリーズについての取り扱い

普及モデルの通称「トレードインボックス (TB) 」シリーズについては、シリーズ呼称を新たに「カジュアルライン」に統一します。製品名および製品型番についての変更はありません。

● 「デジコア808」についての取り扱い

シリーズ呼称、製品名、製品型番のいずれも変更はありません。

別表：ソニックデザイン プレミアムライン スピーカー
 (旧システム/ユニット (SD) シリーズ) 新旧製品 型番対応表

製品名 (タイプ呼称)	これまでの製品型番	これからの製品型番
トゥイーターモジュール (type25)	SD-25N	SD-25N (変更なし)
	SD-25R	SD-25R (変更なし)
	SD-25F	SD-25F (変更なし)
ワイドレンジドライバー・モジュール (type52)	UNIT-52N Aタイプ	UNIT-N52N
	UNIT-52R Aタイプ	UNIT-N52R
ワイドレンジドライバー・モジュール (type55)	UNIT-52N Sタイプ	UNIT-N55N
	UNIT-52N Sタイプ	UNIT-N55R
2ウェイ・スピーカーモジュール (type77)	SYSTEM77 type N	SYSTEM-77N
	SYSTEM77 type R	SYSTEM-77R
	SYSTEM77 type F	SYSTEM-77F
ドアウーファーモジュール (type100)	UNIT-100N (06y)	UNIT-N100N
	UNIT-100R	UNIT-100R (変更なし)
	UNIT-100F	UNIT-100F (変更なし)
2ウェイ・スピーカーシステム (type25+type100)	R-100UNIT	SYSTEM-100R
	F-100UNIT	SYSTEM-100F
サブウーファーモジュール (type130)	UNIT-130N AL/AR	UNIT-130N
	UNIT-130R AL/AR	UNIT-130R
	UNIT-130F AL/AR	UNIT-130F
サブウーファーモジュール (type131)	UNIT-130N BL/BR	UNIT-131N
	UNIT-130R BL/BR	UNIT-131R
	UNIT-130F BL/BR	UNIT-131F